

横浜いずみ台病院広報誌



# あやめ

2008年1月  
横浜いずみ台病院



## 「あやめ」

横浜いずみ台病院のある横浜市泉区。その区の花が「あやめ」です。地域の皆様に親しんでいただけるように、との願いを込めて広報誌のタイトルに「あやめ」とつけました。今後、横浜いずみ台病院がより多くの方の身近な病院となれますよう、努力していきたいと思います。

(横浜いずみ台病院スタッフ一同)

## 広報誌「あやめ」創刊に寄せて

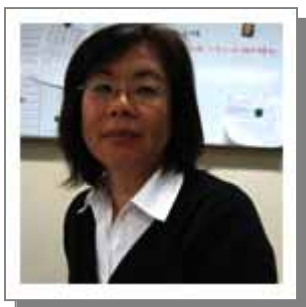
横浜いずみ台病院 病院長 飯澤 肇



これまで職員向けの院内誌は毎月定期的に発行されていましたが、この度、もっと多くの方々に読んでいただけるようなものを刊行すること、とても嬉しく思います。当院が現在の地に移転して6年近く、病気以外のことでは、地域の方々とは、夏祭りや餅つきなどでふれあいを持たせていただけてきました。この限られた機会以外にこの誌面が「横浜いずみ台病院」のことをもっと知っていただける場となれば幸いです。出来るだけ大勢の方々に読んでいただける、次号を楽しみに待ってもらえるような誌面作りを心がけ、発展させていけるようスタッフにはっぱをかけてまいりたいと思っています。

## 新年を迎えて

横浜いずみ台病院 事務長 高田 史子



時が流れるのは大変早く、平成も20年となりました。私も、いずみ野近辺に住居を構えて、早25年が経ちました。時の流れと反してこの地域は、何十年過ぎてもあまり変化がなく、自然にも恵まれ、静かな生活が送れ、子育てや老後を過ごすにしても、生活しやすい地域だと思っております。

この地に泉区ひなた山から移転して、6年目を迎える病院です。病院の規模から言って、大掛かりな検査や治療はできませんが、地域周辺の各病院と連携を取り、地域皆様の「かかりつけ医」を目標として、職員一同業務に励んでおります。

また当院は、急性期病院での治療は終了したが、在宅では不安がある患者様の受け入れも積極的に行っています。福祉関係の施設にも、気軽に外来受診して頂けるようお声かけも続けております。

地域に望まれる病院を目指し、外来・病棟スタッフは、定期的にご利用患者様にアンケートを聴取し、皆様から気軽に健康相談や介護相談を受けられる病院作りに励んでおります。

当院は関連施設として、上飯田地区に介護老人保健施設を持ち、ひなた山の旧病院跡地にクリニックとグループホームを構え、地域の皆様に医療・福祉の両面からサービス提供ができるよう連携をとっています。

お困りのことがあれば、当院の相談員が窓口となってお話をお聞きしますので、気軽にご相談ください。

今年もよろしくお願い致します。

## 新年、明けましておめでとうございます

横浜いずみ台病院 看護師長 山中 継治



初春のお慶び申し上げます。本年も宜しくお願いたします。

当院は来年度に増床を行う予定で、それに伴い看護部も大きくなっていきます。成長段階の看護部ですが、患者様に安心して受診・入院をしていただけるように看護部一丸となって業務に取り組んでおります。

## 季節便り

当院では季節毎の行事を患者様やご家族の方、地域の皆様と一緒に楽しめるようなイベントとして行なっております。12月のキャンドルサービス・餅つきの様子をご覧ください。

### ～キャンドルサービス～



先日、いずみ台病院では毎年恒例のキャンドルサービスが行われました。私たち職員がサンタクロースやトナカイの格好をして、患者様一人一人にクリスマスプレゼントを渡しました。皆様本当に喜んで下さって、中には涙を流す方もいらっしゃいました。

キャンドルサービスを行って、患者様やご家族の方ともより一層交流を深めることができたかと思えます。今後もこのような行事を行い、患者様に喜んで頂ける様、頑張っ  
て行きたいと思えます。

(介護士 中村)

### ～餅つき～

先日、病院にて恒例のもちつき大会が行なわれました。私も、もちつきをするのは初めてに近く、楽しい経験でした。地域の皆様も数多く来て頂き、とても喜んで頂けた様でした。院内の団結を強めるだけでなく、地域の皆様とも交流を深めるためにも、このような行事は続けていきたいです。

(介護士 小松)



## 横浜いずみ台病院 基本理念

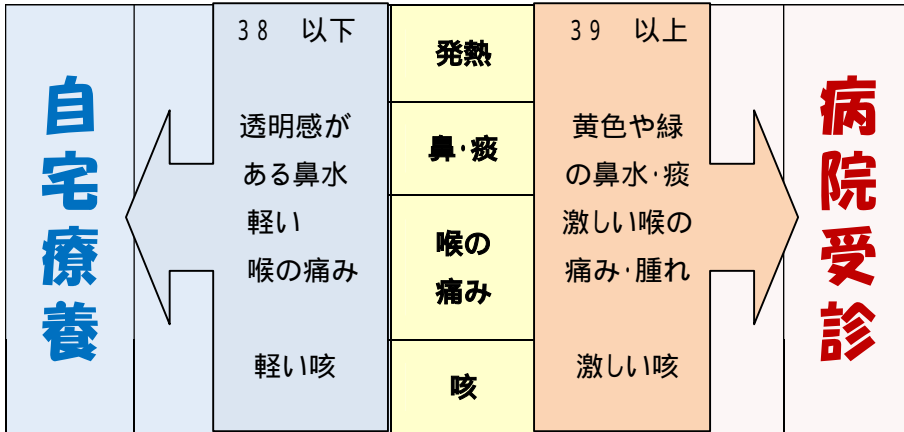
- 患者様本意の医療を実践し、患者様及びご家族様と緊密な意思疎通を図ります。
- 医療の質の向上に努め、地域医療に貢献します。
- 利益を地域社会と職員に還元できるよう経営基盤を安定させます。



# 健康アドバイス

## かぜ・インフルエンザの季節に備えて

風邪とは急性上気道炎、いわゆる『かぜ症候群』のことです。最もよく見られる呼吸器疾患で、原因の殆どはウイルスです。ふつうは、一週間以内で自然に治まりますが、病院にかかるかどうかは下記のような基準で判断してみてください。



熱が38 ~ 39 で、他の症状が2つ以上ある場合病院受診を勧めます。

### 自宅療養での注意点

急性上気道炎の多くは自宅療養で治ります。インフルエンザ以外の“かぜ”のウイルスには有効な薬がなく、殆どのかぜ薬は色々な症状をやわらげるための薬で、“かぜ”は免疫の力で治っていくのが普通です。

安静をはじめとしてバランスの良い食事、水分補給、室温・湿度の調節に気を配って下さい。

予防には、手洗いとうがいが有効です。石鹸を使って手洗いをし、うがいは水道水でもかまいません（イソジンも可）が、その回数が大切です。

### 普通のかぜとインフルエンザ

“かぜ”は鼻水・くしゃみ・咳・微熱などが中心でどちらかというたらだらと続きます。

インフルエンザは突然の高熱・節々の痛み・全身のだるさなどで始まり、咳などは後から追いかけるように現れることが多いのが特徴です。

“かぜ”やインフルエンザは、かかった人の飛沫（会話やくしゃみなどで飛び出す唾、しぶきなど）や直接の接触などによって喉や鼻などからウイルスが侵入し感染が広がります。

“かぜ”やインフルエンザの予防は、いずれも手洗い・うがいが有効です。また、インフルエンザウイルスは乾いた環境下で増殖しやすいため、適度な湿度（50%～60%）を保つことが大切です。

今回の健康アドバイスは、当院内科医師であり、院内感染対策委員長の那須先生にうかがいました。



# 診療案内

## 診療科目・受付時間

### 診療科目

内科 消化器科 循環器科  
小児科 外科 整形外科  
放射線科 リハビリテーション科  
歯科 口腔外科

### 診療受付時間

月～金 AM 9:00～11:30  
PM 1:30～4:30  
土 AM 9:00～11:30

## 担当医表

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	那須	飯澤	渋谷	飯澤 岡本	那須	飯澤 那須
	外科 (内科)	飯澤	岡本		井上	糸川	岡本 2,4,5 週目
	整形外科						本田 1,3 週目
午後	内科 外科	岡本	那須	飯澤	井上	岡本	
午前 午後	歯科	金原 青木	金原 青木	青木	金原	金原 青木	金原 青木

木曜日の内科医師は第2, 4週は飯沢医師、第1, 3, 5週は岡本医師です。

土曜日の内科医師は一週間交代となります。

2月中旬より整形外科の常勤医師が赴任予定です。それに伴い、外来の担当予定も若干変更となります。ご了承ください。



広報誌「あやめ」

**創刊号**

2008年 1月15日

横浜いずみ台病院

〒245-0016 横浜市泉区和泉町7838

電話: 045-806-1133 (代)

FAX: 045-806-1132

ホームページ: <http://izumidai.net/>

発行: 情報委員会